

あおもり



CONTENTS | 目次

特集 みんなでチャレンジ! ごみの少ないエコな社会を目指して ▶P2-5

旬を食べよう。あおもり食材で簡単ヘルシークッキング/
青森きらりイッピン 私が出会った青森のイッピン ▶P6

「青森県健康経営認定制度」「あおもり働き方改革推進企業認証制度」のお知らせ/
県立高校の学科改編や具体的な学校配置などの案を公表しました!/
未来は「アナタの声」で変えられる!〜県政・わたしの提案 ▶P7

申吾のほっとコラム/あおもりインフォメーション ▶P8



海と生きる

「まさかり」の大地

下北ジオパーク

ジオパークとは、「地球・大地」を意味する「ジオ:Geo」と、「公園」を意味する「パーク:Park」を組み合わせた言葉で、「人々の暮らしと、自然や大地とのつながり」を学び、楽しめる場所です。

下北は、「海と生きる「まさかり」の大地」本州最北の地に守り継がれる文化と信仰をテーマに、平成28年9月、「日本ジオパーク」に認定されました。太平洋、津軽海峡、陸奥湾と、特徴の異なる3つの海に囲まれた下北は、大間まぐろ、風間浦鮫鱈、陸奥湾のほたてなどに代表される日本有数の海産資源の宝庫。また、下北には、かつて北方交易で活躍した北前船の停泊港が数多くあったことから、京都祇園の流れをくむ「田名部まつり」や、「けいらん」などの上方料理が伝わり今に受け継がれています。海は海産物をもたらしてくれるだけでなく、文化を運ぶ「路」でもありました。多様な地質でできた大地や河川、地形に基づいて発展してきた恐山や仏ヶ浦の信仰。海とともに生き、そこからもたらされた文化や風習、人々の暮らしの営みは、まるごと下北ジオパークの魅力です。

脇野沢港と仏ヶ浦を結ぶむつ市観光遊覧船「夢の平成号」は、今期、従来の航路に加え、脇野沢港周辺でイルカを探す「イルカウォッチングコース」や、脇野沢港の沖合にある鯛島に上陸できるコースを新設。ダイナミックな景観を眺めながら、海と大地、生き物が織りなすストーリーに想いをはせてみませんか。

▼関連記事はP6で